

シルバーたいとう センターだより

No.133

発行 公益社団法人台東区
シルバー人材センター
編集 総務・広報委員会
台東区小島1-5-5
電話 3864-3338
FAX 3864-3383
アドレス http://www.taito-sc.or.jp/
メール taito@sjc.ne.jp
発行日 平成30年10月15日
会員数 939人(30年9月末日現在)

10月は広報活動強調月間です。



No.93 平成20年10月発行



No.109 平成24年10月発行



No.121 平成27年10月発行

毎年10月は、広報活動強化月間となっています。今シルバー人材センターは、定年後65歳までの雇用延長の影響等による会員数の伸び悩みや、職域の拡大等の課題を抱えています。

こうした課題に対応していくには、広く世間の皆様に対して、効果的な広報活動を展開し、シルバー人材センターへの理解を深めていくことが大変重要です。

「広報」という言葉を辞書で調べてみますと、「官公庁や企業、団体等が、事業内容や活動状況を世間一般に、広く知らせ理解を求めること」とあります。世間の皆様は、私たちシルバー人材センターの事をどの程度知っているのでしょいか。

ある企業が55〜79歳までを対象に実施したアンケートによりますと、シルバー人材センターの認知度は、各年齢層において非常に高い割合となっており、知るきっかけとなったのは、ポスターやチラシ、広報誌などの割合が高くなっています。しかし、高い認知度が入会に結び付いていないというのも現実です。

入会したきっかけは、友人・知人の紹介やインターネット経由でシルバー人材センターを知ったという方の割合が高く、入会しない理由は、組織所属を嫌がる方や、仕事をする必要のない方の割合が高く、健康面を理由に挙げる人も一定数います。

また、主要な情報源としては、テレビ、インターネット、新聞となっていますが、近年、スマートフォンの利用率が大きく上昇し、LINEやFacebook等のSNSの利用率も高くなっています。

当センターでは、これまでも広報活動に力を注いでまいりましたが、こうしたアンケート結果等も参考に、より効果的な広報活動に努めていかなければなりません。

今年度も、広報活動強化月間の一環として、10月に区役所で開催される消費生活展や寿作品展示会に参加するほか、紹介ビデオの制作や新聞折り込み広告などにより当センターをPRしてまいります。今後、時代の流れに即した広報活動の在り方を検討していく必要を感じています。

※アンケート：NRI社会情報システム株式会社「シルバー世代の人材活用に関するアンケート（2018年版）」

理事会だより

第4回理事会（平成30年7月24日開催）

・審議事項

①新規入会について

・協議事項

①平成30年度広報活動強化月間の実施及び消費生活展・寿作品展示会の参加について

・報告事項

①平成30年6月分事業実施状況について
②平成30年度安全就業計画について
③平成30年度安全就業推進連絡拡大大会議の報告について

第5回理事会（平成30年8月24日書面による決議）

・提案事項

①新規入会について

第6回理事会（平成30年9月25日開催）

・審議事項

①新規入会について

②労働者派遣事業の実施について

③シルバー人材センター等労働者派遣事業計画の策定について

④シルバー人材センター等労働者派遣事業に係る個人情報適正管理要綱の制定について

⑤安全対策基本計画の改正

・協議事項

①消費生活展及び寿作品展示会の参加について

・報告事項

①都財団の労働者派遣事業実施要綱について
②都財団の派遣労働者就業規則及び同取扱細則について

③平成30年7月分及び8月分事業実施状況について

④第2ブロックシルバー人材センター合同役員研修会の開催について

⑤平成31年度安全就業標語の募集について

委員会だより

第2回総務・広報委員会（平成30年9月19日）

・議題

①センターだより10月号について

②シルバー人材センター紹介ビデオの制作について

第1回事業委員会（平成30年9月18日）

・議題

①労働者派遣事業の実施について

②シルバー人材センター等労働者派遣事業計画の策定について

第2回安全・管理委員会（平成30年7月11日）

・議題

①平成30年度安全就業実施計画について

②平成29年度の事故の概況等について

③事故報告について

④平成30年度安全就業パトロール巡回指導について

⑤平成30年度「安全就業実施計画」及び「安全巡回指導」の実施状況について

⑥「転倒事故防止勉強会（全3回）」及び「安全大会」の参加について

⑦平成30年度安全就業標語について

第3回安全・管理委員会（平成30年9月19日）

・議題

①安全対策基本計画の改正について

②安全リーダー研修会報告について

③平成30年度「安全対策実施計画」及び「安全巡回指導」の実施状況について

④第2ブロックシルバー人材センター安全就業合同会員研修の開催について

派遣事業の実施について

9月25日に開催された理事会において、平成31年度から派遣事業を実施することが決議されました。

派遣事業は、平成16年の法律改正により、シルバー人材センターでも労働者派遣事業を実施することが可能となったものです。

現在の当センターの就業は、請負や委任契約によるもので、就業先で発注者から指揮命令を受けたら、発注者の従業員等と混在して就業することは禁止されておりました。また、就業にあつての雇用関係もありませんでした。

しかし派遣事業のもとでは、会員と東京都シルバー人材センター連合との間で雇用関係を結び、就業先の事業所等に派遣され、直接指揮命令を受けて働くこととなります。したがって、労働の対価としての賃金が支払われることになり、これまでの配分金とは性格の異なる新たな仕組みとなります。

ただし、派遣事業といつても民間企業が行っている派遣とは異なり、「臨時的・短期的な就業」「その他の軽易な業務にかかる就業」の範囲において行われるものになります。また、当センターの仕事のすべてが、派遣事業に変わるものでもありません。

今後、所定の手続きを経て、来年度から実施する予定としています。

派遣事業の実施によつて、職域と会員の皆様の就業機会の拡大等に繋がっていくことが期待されます。

派遣事業の実施に関する情報は、随時、センターだより等を通じてお知らせしていくほか、改めて説明する機会を設けてまいります。

契約金の「目安となる価格」を改定いたしました

10月1日から、契約金の「目安となる価格」を改定いたしました。これは、国が改定した最低賃金を参考に実施するものです。10月以降の新たな契約から適用いたします。

詳しい内容は、ホームページをご覧ください。事務局までお問い合わせください。

安全リーダー研修会報告

理事・安全管理委員長 金子 時男
 平成30年7月24日開催の安全リーダー研修会に参加しました。

はじめに、平成29年度中に起きた都内センター会員の就労中の事故と、自宅からの行き帰り途上の交通事故の多かったお話しがありました。痛ましいお話しには、自分自身、身につまされました。

ところで、ケガといえれば私自身も足首捻挫の経験があります。自宅台所で、小さな折り畳みイスを踏み台代わりに使っていて、足の踏み具合が悪く急にイスが畳まれ落下してしまいました。大変痛かった記憶があります。折り畳みイスを踏み台の代わりに使っては大変危険だということに身にしみました。

次のお話しは、高齢者の転倒事故、その理解と予防でした。

私たちの平均寿命は、男性80.21歳、女性は86.61歳ですが、その寿命までの手前にある「健康寿命」のお話しでした。それは、「心身ともに自立した活動的な状態で生存できる期間のことです。平均寿命までの期間が、男性では9.02年、女性では12.40年あるのだそうです。この健康寿命の中に「健康余命」と要介護等の期間である「不健康余命」があり、この不健康余命の期間をなるべく短くすることが、今回の研修の本題でした。勿論すべては平均ですので個人差は大きいです。

加齢とともに私達の筋力は少しずつ衰えます。脳からの筋肉への伝達速度も遅くなります。同時に骨の骨密度も減ってきています。こういう身体状況の中で転倒しますと、骨折事故が起きてしまうのです。骨折で多い部位では、手首の骨折と股関節（大腿骨頸部）骨折です。私達高齢

者が骨折しますと、そこが治っても筋力低下等で運動不足になった結果、歩行が困難になって、家に閉じこもりがちになり、負の連鎖である老化の進行に繋がるといふ事になります。

◎転倒、骨折を予防する為にできる事
 ①一日に二回以上外出する人は、障害発生リスクが減少するそうです。外出して歩く頻度を高めましょう。軽やかな足の運びは、バランス能力を高めます。

②お薬は、時には両刃の剣になることもあるのでご注意ください。

③日頃から、体の平衡バランスを崩した時の咄嗟の対応を考えましょう。普段から足の動かし方の支え方を練習しておくことが大事です。

④自分を過信せず体調の管理に努めましょう。行動では時間に余裕をもつて計画的に動き、移動先の事も事前に調べておけば余裕が出来ます。安心して。

⑤屋内では足を引っかけつまずかないよう様に、整理整頓を心掛けましょう。屋外ではサンダルではなく足に合った靴を履きましょう。

⑥一息おいてまわりを確認する余裕を持ちましょう。

お話を聴きまして、加齢による身体の変化を理解しながら注意力を高め、健康で明るい生活ができるようにしたいものだと思います。

シルバー人材センター安全大会

今年度のシルバー人材センター安全大会が、9月27日東京しごとセンターにて開催され、当センター安全管理委員会から金子委員長、中野委員、吉川委員、太田局長の4名が参加しました。

大会では、安全就業優良団体として渋谷区、豊島区、国分寺市、羽村市のセンターが表彰され、

各センターから安全就業への取組みに関する事例発表があったほか、転倒防止のための就業環境に関する講演等が行われ、最後に安全宣言が行われ幕を閉じました
 当センターでは、他のセンターの取組みや講演等を参考にしながら、実効性のある安全対策を講じてまいります。

安全就業巡回指導を実施しています

回	実施日	担当委員	巡回場所	コメント
1	6月7日(木)	金子 委員長	植木剪定・除草	① 猛暑が続いており、水分・塩分補給や休憩をとり体調管理には充分注意すること。 ② 就労前後の自転車利用は交通ルールを遵守し、安全運転に努めること。 ③ 全体的にルールを守り就業している。 ④ 就業現場では、日頃から道具類の整理整頓を心掛けるように。 ⑤ 施設内清掃では、階段での掃除機使用は大変に危険であり使用しないこと。 ⑥ 児童施設では、こどもとの接触事故などに充分注意すること。
		中野 委員	三ノ輪自転車駐輪場	
2	7月6日(金)	辻 委員	寿区民会館	
		窪田 委員	寿児童館	
3	7月12日(木)	河野 委員	植木剪定	
		吉良 委員	台東病院駐車場	
4	7月18日(水)	小林 委員	千束保育園	
		木村 推進員	千束児童館	
5	8月2日(木) (財団同行)	金子 委員長	環境ふれあい館	
		太田 委員	作業工房(障子張替)	
6	9月10日(月)	辻 委員	玉姫保育園	
		吉川 委員	玉姫児童館	

平成30年度上半期実績報告

台東区「シニアガイド」をご存知ですか

今年の夏は猛暑が続きました。テレビ等では、連日のように生命に危険を及ぼす状況にあると、注意が呼びかけられていました。老若男女を問わず、日頃、自分は健康であると思っていた方でも、身体に不調を感じた方も少なくなかったと思います。このセンターだよりが発行される頃には、少しでも過ごしやすいい日になっていることを願うばかりです。

さて、今回皆様にご紹介するのは、台東区が発行している平成30年度版「シニアガイド」です。



誰もが、健康で元気に過ごしていきたいと願うのは当然のことです。そのためには、このガイドを活用して、ご自分にあった健康づくり等を実践してみたいかがでしょうか。楽しみながら参加することが出来る教室や講座など、様々なメニューが掲載されています。その内容の一部をご紹介します。

自分のペースで運動タイプ

老いに負けない
体を作りたい

筋力アップの教室、
介護予防教室、
ウォーキング



写真は山谷堀公園のうんどう教室

知識習得タイプ

いきいき生活のため

健康に役立つ情報を知りたい

お口ケアや機能向上の講座
尿もれ予防講座、体力測定

脳トレーニングタイプ

楽しみながら頭の体操がしたい

読み書き計算の教室
レクリエーション教室

趣味活動・自主グループ活動タイプ

仲間や友人と趣味等を
通じて交流したい

趣味等を楽しむ教室
サロン・自主グループ
生涯学習の教室



写真はさくらフォークダンス

地域でのボランティア活動タイプ

台東区が好き

特技を活かしたり

地域の人の役に立ちたい
体操ボランティア
シニア(老人)クラブの
ボランティア活動



写真は交通安全ボランティア

台東区介護予防・地域支援課担当者からのメッセージ

いつまでも元気であるための秘訣は

☆外に出ること

☆人と交流すること

☆体を鍛えること

この三つがポイントです。シニアガイドであなたにあった取組みを探してみてください。

このガイドブックは、区役所の介護予防・地域支援課や地域包括支援センター、シルバー人材センター等にあります。

紹介ビデオ撮影中

現在、当センターの紹介ビデオを撮影中です。

このビデオは、皆様方の就業の様子や各種講習会等を撮影し、シルバー人材センターの活動状況を、広く区民の皆様方にお知らせするために、広報活動の二環として制作するものです。

入会説明会や各種イベント等で活用することにより、シルバー人材センターの魅力を発信し、会員の増加や受注業務の拡大などに繋がってまいります。

今後、皆様方の就労先にお邪魔したときは、ご協力をお願いいたします。

シルバーパス交付事務に43名の会員が従事しました

9月3日から28日まで区役所や区民館など8つの会場で、平成30年度「東京都シルバーパス」の更新手続きが行われました。この業務に43名の会員が従事しました。

従事された皆さんは、事前に行われた更新業務説明会で制度の概要や業務内容などの説明を受け、更新業務に臨みました。

難しい内容のものもありましたが、無事に約1万人の方に新しいパスを交付することが出来ました。



台湾から視察

8月20日、台湾の「労働部労働力発展署」から、施淑恵団長ほか6名の皆様が視察にお越しになりました。この役所は日本の厚生労働省にあり、視察にいられた皆さんは、高齢者等の雇用を担当しているそうです。

当日は、2階の作業所と自転車リサイクル事業の現場をご覧いただいた後、会議室で当センターの事業説明等を行いました。皆様方とても熱心で、すごい質問もいただきました。

台湾にも、シルバー人材センターのような制度はあるそうですが、法律上の位置づけがないため、今後、法律の整備を検討していくようです。今回の視察が少しでもお役に立てれば幸いです。



災害は身近な問題です

今年の夏以降、西日本を中心とした集中豪雨や大型台風の上陸、また北海道での大地震など大きな災害が続きました。

犠牲となられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。

地球規模での異常気象が続く中、今年の夏は記録的な猛暑に加え、「観測史上初めて」や「数十年に一度」という言葉を良く耳にしました。

また、西日本を中心とした豪雨のとき、「これまで経験したことのないような大雨となっており、命に関わる重大な災害の危険性が高まっている」として、最大級の警戒が何度も呼びかけられておりました。

大雨や台風に関する様々な情報は、行政や報道機関等から事前に発信されます。しかし、地震は突然襲ってきます。また今回の北海道の地震は深夜に発生しています。

私達高齢者は、身体的に衰えがあることを自覚し、自分は大丈夫だろうと油断せず、早め早めの行動と、日頃から災害に備えそれを継続的に行っていくことが大変重要です。

テレビを通じて観た各被災地の映像は、筆舌に尽くし難く自然の脅威を改めて感じさせられるものでした。

この度の災害を教訓として、ご家族で話し合うなど緊急時に備えていたいただきたいと思えます。また、ご近所で二人暮らしの高齢者など災害時に配慮を有する方への声かけなど、地域の連携も大切です。

ぜひ、身近な問題として今一度考えてみましょう。

会員ひろば

台東区美術展

第41回台東区美術展（主催…台東区教育委員会、台東区美術会）が9月7日から12日まで、隅田公園リバーサイドギャラリーで開催され、今年も当センターの会員3名が出展されました。

【水墨画】



画題 湿原
作者 牧野 民子さん

「季節の移り変わりで湿原の眺めも変わります。早く春はこないかという思いで描きました。」

【洋画】



画題 満月の花火大会
作者 石井 多嘉子さん

「隅田川の花火を見て、光・色・形を鑑賞、その魅力に強く心をひきつけられ描きました。」

シニア川柳募集中

台東区役所では、来年2月発行の元気情報誌「ココカラ 第四号」に掲載する川柳を募集しています。応募用紙は当センター事務局にあります。是非、ご応募ください。
・募集締切 11月20日（火）
・区担当課 介護予防・地域支援課

各種講座のご案内

毛筆筆耕、折り紙、パソコンの各講座が原則として毎月開催されています。
各講座とも毎回テーマを設定し、多くの皆様が楽しく受講されています。
関心のある方は、事務局までご連絡ください。是非、お気軽にご参加ください。

平成31年度安全就業標語の募集

安全就業の普及・啓発活動の一環として、安全に就業する意識をより一層高め、事故防止を目指すことを目的に募集いたします。
特にテーマは設けません。平成30年12月28日（金）までに、事務局にご応募ください。（様式自由）

シルバー人材センターへの

要望・提案をお聞かせください



画題 静かなとき
作者 小松原 文代さん

「穏やかな気持ちで絵を描き移り行くときを過ごしたい。」

※作者への取材等は、石森相談役にお問い合わせしました。

初代川柳生誕300年 記念川柳展

初代川柳生誕300年記念川柳展が、8月26日から31日まで隅田公園リバーサイドギャラリーで開催されました。

当センターの会員である内田博さんが、同展の実行委員長を務められました。内田さんは来場者に楽しんでいただけるよう、熱心に作品説明をするなど川柳文化を語りかけておられました。

